



VMware vCloud Suite 6.0

ライセンス、価格設定、およびパッケージ

ホワイト ペーパー

目次

エグゼクティブ サマリー	3
vCloud Suite のライセンスの概要	3
ライセンスの単位：プロセッサ（CPU）単位.....	3
物理リソースに関する制限なし.....	3
仮想マシン数の制限なし	3
単一のライセンスで複数のコンポーネントを使用	4
vSphere のバージョンのダウングレード.....	4
vCloud Suite のエディション.....	4
vCloud Suite のアップグレード	6
Fair Value Conversion Program	6
FAQ.....	7
購入方法.....	8
詳細情報.....	8

エグゼクティブ サマリー

VMware vCloud® Suite は、Software-Defined Data Center のアーキテクチャを基盤とした VMware vSphere® ベースのプライベート クラウドを構築、管理するための統合製品で、IT 部門の効率性、俊敏性、および管理性を大幅に向上させます。vCloud Suite は、データセンター全体で仮想化の経済性を向上させ、適切なレベルのセキュリティと可用性を維持しながら、ビジネスのスピードにあわせてアプリケーションをプロビジョニングします。

vCloud Suite 6.0 は次の製品で構成されています。

- VMware vSphere：世界をリードするサーバ仮想化プラットフォーム
- VMware vCenter™ Site Recovery Manager™：すべての仮想アプリケーションを対象とした、ポリシー ベースのディザスタリカバリ オークストレーションおよびフェイルオーバー テストの実行
- VMware vRealize Business™：インフラストラクチャのコスト算出および使用状況の測定の自動化、価格設定とセルフ サービスプロビジョニングの連携
- VMware vRealize Automation™：vSphere 環境のインフラストラクチャとアプリケーションをセルフ サービスかつポリシーベースでプロビジョニング
- VMware vRealize Operations™：vSphere 環境向けのインテリジェントなパフォーマンス、キャパシティ、および構成管理

vCloud Suite のライセンスの概要

vCloud Suite 6.0 のライセンスはプロセッサ単位で付与されます。これは、vCloud Suite のすべてのエディションに含まれる vSphere 6.0 Enterprise Plus と同じ基準のライセンスです。vCloud Suite 6.0 のライセンスが適切に付与されたプロセッサを使用するすべての仮想マシンは、該当するエディションのすべてのコンポーネントを使用できます。

ライセンスの単位：プロセッサ (CPU) 単位

vCloud Suite 6.0 の各エディションに含まれるコンポーネント (vSphere Enterprise Plus、vRealize Operations など) はすべて、そのエディションのライセンスが付与されることで有効となります。vCloud Suite を実行するには、サーバ内の物理プロセッサごとに、vCloud Suite 6.0 のプロセッサ単位のライセンス キーを少なくとも 1 ライセンスずつ割り当てる必要があります。サーバ内のすべての物理プロセッサに、vCloud Suite の同じエディションのライセンスが必要です。vCloud Suite 6.0 のライセンス キーは、vSphere 6.0 Enterprise Plus のライセンス キーと同じ方法で展開および管理できます。

物理リソースに関する制限なし

vCloud Suite 6.0 では、物理コア数や物理メモリの容量に制限はありません。

仮想マシン数の制限なし

適切にライセンスが付与された vCloud Suite プロセッサ上で稼動する仮想マシンの台数には、制限はありません。ライセンスが付与された vCloud Suite のエディションに含まれるすべてのコンポーネントは、すべての仮想マシンで使用できます。

単一のライセンスで複数のコンポーネントを使用

VMware vCloud Suite 6.0 は、複数のコンポーネント (vSphere Enterprise Plus、vRealize Automation、vRealize Operations など) が含まれる単体製品で、1 つのライセンスで提供されます。これらのコンポーネントの多くは、仮想マシン単位でライセンスが付与される単体製品としてご購入いただけます。これらのコンポーネントを vCloud Suite としてご購入いただく場合は、プロセッサ単位でライセンスが付与されますのでご注意ください。vCloud Suite のライセンスが適切に付与されたプロセッサを使用するすべての仮想マシンは、該当する vCloud Suite のエディションに含まれるすべてのコンポーネントを使用できます。vCloud Suite のライセンスが付与されていないプロセッサ上で稼動する仮想マシン上で、単体製品で提供されるコンポーネントを使用するには、別途ライセンスが必要です。

vCloud Suite は複数のコンポーネントで構成されていますが、1 つのライセンスで提供される単体製品です。アップグレードは、vCloud Suite のエディション単位で行います。vCloud Suite のコンポーネントを個別にアップグレードすることはできません。たとえば、vCloud Suite Advanced に含まれている vRealize Operations Advanced コンポーネントを個別にアップグレードすることはできません。vCloud Suite Advanced を Enterprise のエディションにアップグレードすることは可能です。vCloud Suite の 1 つのプロセッサ ライセンスを複数のプロセッサで使用することはできません。たとえば、1 つのライセンスを、あるプロセッサ上で実行するコンポーネント (例: vSphere Enterprise Plus) に使用し、さらに別のプロセッサ上で実行する別のコンポーネント (例: vCenter Site Recovery Manager) に使用することはできません。

適切にライセンスが付与されていれば、vCloud Suite の導入環境に単体製品を追加することができます。たとえば、vCloud Suite Standard (プロセッサ単位のライセンス) を実行する仮想マシンに vCenter Site Recovery Manager Enterprise (ライセンスは仮想マシン単位) を展開できますが、両方の製品について適切な数のライセンスが必要です。

VMware は、単一の vCenter Server™ のインスタンスで vCloud Suite のエディションを 1 つのみ管理することで、ライセンス管理とコンプライアンスの簡素化を実現することを推奨しています。vCenter Server のインスタンス 1 つに対して複数の vCloud Suite のエディション (または vCloud Suite と vSphere の両方) を稼動する混在環境の場合でも、コンプライアンスを遵守することは可能です。混在環境でコンプライアンスを遵守するには、使用する機能 (例: vRealize Operations) のライセンスが、すべての仮想マシンに適切に付与されている必要があります。vCloud Suite のライセンス (プロセッサ単位)、単体製品のライセンス (仮想マシン単位) のどちらでも、仮想マシンに対して適切にライセンスを付与することができます。

vSphere のバージョンのダウングレード

vCloud Suite 6.0 のすべてのエディションには、vSphere 6.0 Enterprise Plus がコンポーネントの 1 つとして含まれています。vCloud Suite に関心をお持ちで、vSphere 6.0 に移行する準備がまだ整っていないお客様は、vCloud Suite に含まれる vSphere Enterprise Plus コンポーネントを vSphere 4.x Enterprise Plus または vSphere 5.x Enterprise Plus にダウングレードすることができます。vCloud Suite のその他のコンポーネントはすべて vCloud Suite のエディションに含まれているバージョンのままになり、ダウングレードできませんのでご注意ください。ダウングレードされた vSphere 4.x または 5.x は、vCloud Suite 6.0 にあらかじめ含まれていたバージョンである vSphere Enterprise Plus 6.0 に必要に応じてアップグレードできます。

vSphere のバージョンのダウングレードは、MyVMware® ポータルで行うことができます。最初に、vCloud Suite を利用するための、vCloud Suite のライセンス キーが 1 つ作成されます。vCloud Suite のライセンス キーにより、スイート内のコンポーネントはすべて有効になります。特記事項がない限り、スイートには vSphere 6.0 Enterprise Plus が含まれます。vSphere のバージョンをダウングレードすると、vSphere 4.x または 5.x の Enterprise Plus を利用するための追加のライセンス キーが生成されます。あるライセンスの vSphere のバージョンをダウングレードすると、vSphere 4.x または 5.x の Enterprise Plus の利用権限を得ることができますが、そのライセンスでの vSphere 6.0 Enterprise Plus の利用権限は失われます。ダウングレードしたバージョンの vSphere のライセンス キーは、その他の vSphere のライセンス キーと結合できません。ダウングレードしたバージョンの vSphere のキーは、My VMware ポータルで元のバージョンにアップグレードできます。アップグレードを行うと、ダウングレードしたバージョンの vSphere のライセンス キーは削除されて、vSphere 6.0 Enterprise Plus の利用権限がライセンスに再度付与されます。

vCloud Suite のエディション

VMware vCloud Suite では 3 種類のエディションをご用意しており、特定の要件や使用方法に合わせてライセンスを容易に選択いただけるよう、複数の価格設定で異なる機能をご提供しています (図 1 を参照)。サポートおよびサブスクリプション (SnS) は別売です。詳細については、VMware のパートナーまたは認定リセラーにご確認ください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vcloud-suite/pricing.html>

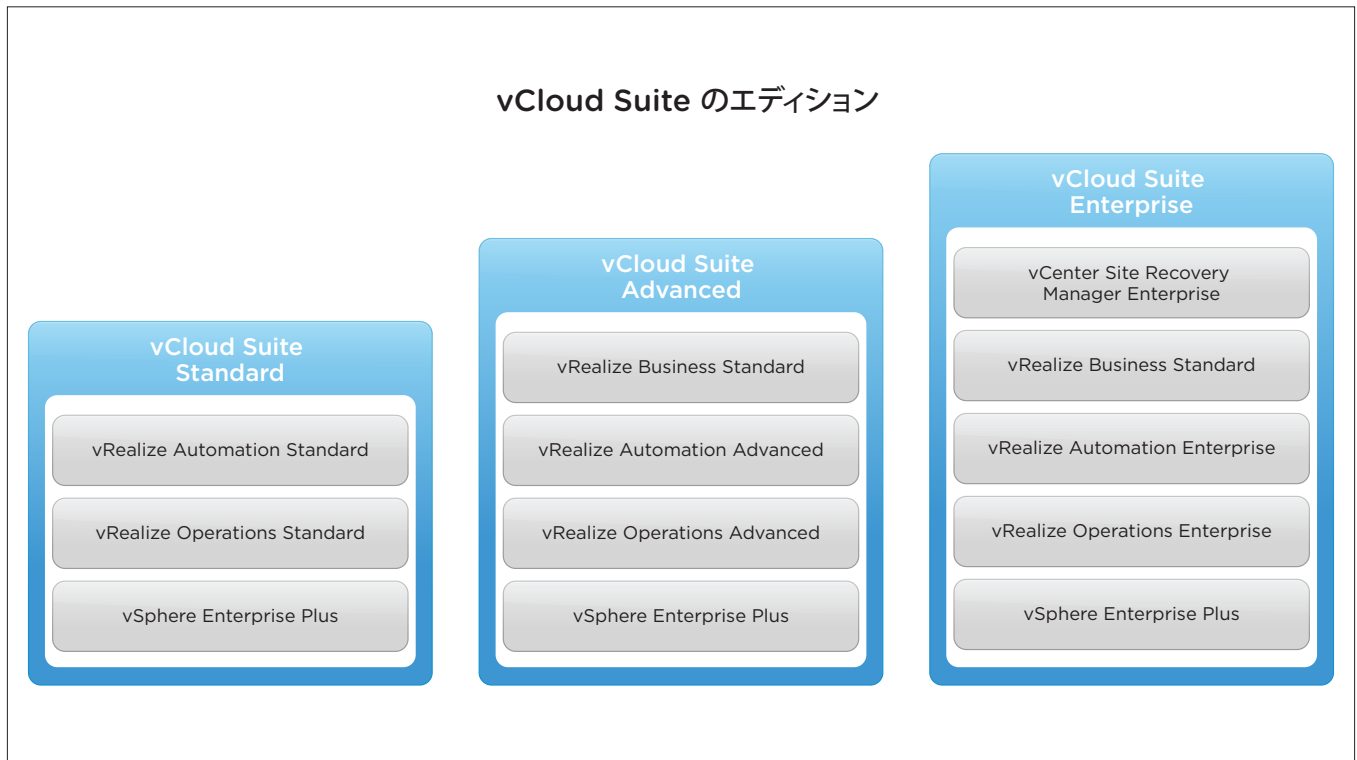


図 1：VMware vCloud Suite のエディション

vCloud Suite Standard：vSphere Enterprise Plus の仮想化プラットフォーム上に構築され、インテリジェントな IT 運用と迅速なインフラストラクチャ プロビジョニング機能を提供することで、設備投資コストと運用コストを削減しつつ、IaaS（サービスとしてのインフラストラクチャ）を実現します。

vCloud Suite 6.0 Standard には次の製品が含まれます。

- vRealize Automation Standard
- vRealize Operations Standard
- vSphere Enterprise Plus

vCloud Suite Advanced：Standard Edition が提供する俊敏かつ安全な IaaS（サービスとしてのインフラストラクチャ）に、インフラストラクチャ サービスのコストの算出機能と IT のコンプライアンス機能を追加したもので、コストの追跡と表示や、セキュリティおよびコンプライアンス要件への準拠を容易にします。

vCloud Suite 6.0 Advanced には次の製品が含まれます。

- vRealize Business Standard
- vRealize Automation Advanced
- vRealize Operations Advanced
- vSphere Enterprise Plus

vCloud Suite Enterprise：耐障害性に優れ、安全で、コンプライアンスを維持したプライベート クラウドを実現する包括的な製品です。ポリシー ベースのワークロードの自動化、ダウンタイムの削減、およびビジネス ソリューションの市場投入期間の短縮を可能にします。

vCloud Suite 6.0 Enterprise には次の製品が含まれます。

- vCenter Site Recovery Manager Enterprise
- vRealize Business Standard
- vRealize Automation Enterprise
- vRealize Operations Enterprise
- vSphere Enterprise Plus

vCloud Suite のアドオン製品

- **VMware NSX™ for vSphere アドオン**：高度な Software-Defined Networking and Security サービスの活用を希望される vCloud Suite のお客様は、NSX for vSphere アドオンを割引価格で購入できます。NSX はレイヤー 2 からレイヤー 7 のネットワークを仮想化し、データセンター全体でセキュリティ ポリシーをワークロードに適用することにより、ネットワークのプロビジョニングと管理の迅速化を実現します。

- **Public Cloud Extension** : vSphere を拡張してパブリッククラウドのキャパシティとサービスの利用を希望される vCloud Suite のお客様は、Advanced または Enterprise のエディションで次の Public Cloud Extension を購入できます。
- VMware vRealize™ Automation™ Public Cloud Extension
- VMware vRealize™ Operations Public Cloud Extension

vCloud Suite のお客様は、追加のライセンスを購入することなく、VMware Integrated OpenStack をご利用いただけます。VMware Integrated OpenStack のサポートはオプションでの提供となり、CPU 単位で別途ご購入いただく必要があります。詳細については、<http://www.vmware.com/jp/products/openstack.html> を参照してください。

vCloud Suite のアップグレード

vSphere、vSphere with Operations Management™、または vCloud Suite の下位エディションから vCloud Suite (およびその上位エディション) へのアップグレードを購入できます。vCloud Suite のコンポーネントとして提供されている製品を単体でご購入されている場合、vCloud Suite にアップグレードする際に、VMware Fair Value Conversion Program により既存の投資を活用いただくことも可能です。

たとえば、vSphere Enterprise Plus Edition をお使いの場合、vCloud Suite Standard、vCloud Suite Advanced、または vCloud Suite Enterprise にアップグレードできます。図 2 は、VMware vCloud Suite へのアップグレードの方法を示したものです。サポート対象のライセンスを VMware vCloud Suite の上位のエディションにアップグレードすると、元のライセンス キーは無効になり、アップグレードされたエディションに対する新しいライセンス キーが発行されます。その後、SnS 料金が計算されます。この新しい SnS 契約は、元のエディションの SnS 契約を拡張したものです。このプロセスにより、単一ライセンス キーの SnS 契約と契約終了日が 1 つにまとまるため、SnS 契約のリニューアルが容易になります。

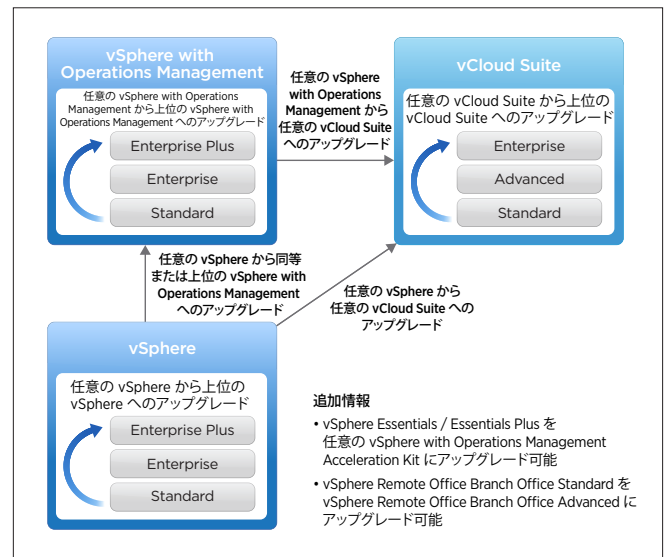


図 2 : VMware vCloud Suite へのアップグレード

Fair Value Conversion Program

現在 vCloud Suite のコンポーネントとして提供されている VMware 製品を単体で購入している場合、Fair Value Conversion Program が適用されます。vCloud Suite にアップグレードする準備が整っていない場合は、このプログラムによって、仮想マシン単位でライセンス付与された単体のコンポーネントを返還し、将来 vCloud Suite を購入するときに割引を受けることができます。vSphere または vCloud Suite の下位のエディションから vCloud Suite の上位のエディションにアップグレードするときに、対象となる既存の VMware 製品の最新の希望ライセンス価格から一定の割合を算出し、割引として適用します (図 3 を参照)。Fair Value Conversion Program の対象となった単独製品のライセンスは無効になり、購入した vCloud Suite のエディションに対する新しいライセンス キーが発行されます。

利用条件など、Fair Value Conversion Program の詳細については、<https://www.vmware.com/jp/support/support-resources/licensing/vcloud-suite-fair-value-conversion> (英語) を参照してください。

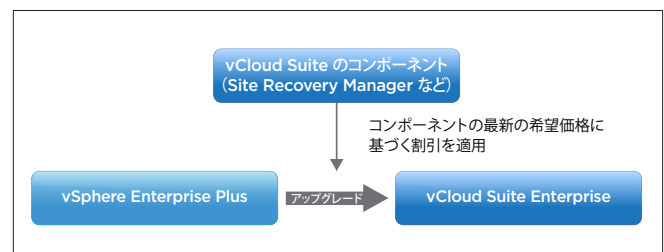


図 3 : Fair Value Conversion Program

FAQ

Q：vCloud Suite のコンポーネント（vRealize Operations など）を個別にアップグレードできますか

A：いいえ。vCloud Suite は単一ライセンスで機能する単一製品です。vCloud Suite のライセンスをコンポーネントごとに分割することはできません。アップグレードは、vCloud Suite のエディション単位でのみ可能となります。

Q：vCloud Suite のあるエディションに含まれるコンポーネントを、vCloud Suite のライセンスが割り当てられていないサーバで稼動する仮想マシン上で使用することはできますか

A：いいえ。vCloud Suite のライセンスは、vCloud Suite のライセンスが付与されたサーバ上で稼動する仮想マシンに対し、vCloud Suite に含まれるコンポーネントの利用権限を付与するものです。vCloud Suite のライセンスが付与されていないサーバ上で稼動する仮想マシンがそれらのコンポーネントを使用するには、追加のライセンスが必要です。

Q：vSphere ホストと vCloud Suite ホストを混在させることはできますか。また、vCloud Suite の複数のエディションを混在させることはできますか

A：はい。ただし、すべての仮想マシンで、使用する機能（vRealize Operations など）のライセンスが適切に付与されている必要があります。vCloud Suite のライセンス（プロセッサ単位）、単体製品のライセンス（仮想マシン単位）のどちらでも、仮想マシンに対して適切にライセンスを付与することができます。VMware は、管理とコンプライアンスの維持を容易にするため、単一の vCenter Server のインスタンスで vCloud Suite のエディションを1つのみ管理することを推奨しています。

Q：仮想マシン単位でライセンスが付与されている単体製品を、vCloud Suite のライセンスが付与されている環境に展開できますか

A：はい。適切にライセンスが付与されていれば、vCloud Suite の導入環境に単体製品を追加することができます。

Q：vCloud Suite のライセンスが付与された1個のプロセッサ上で、何台の仮想マシンを稼動できますか。1つの vCloud Suite のエディションの特定のコンポーネントは、何台の仮想マシンで使用できますか

A：vCloud Suite のライセンスが付与されたプロセッサで稼動する仮想マシンの台数に制限はありません。vCloud Suite のライセンスが適切に付与されたプロセッサを使用するすべての仮想マシンは、該当する vCloud Suite のエディションに含まれるすべてのコンポーネントを使用できます。

Q：vCloud Suite に含まれるコンポーネントを、仮想マシン単位でライセンスが提供される単体製品として購入できますか

A：vSphere を除く vCloud Suite のすべてのコンポーネントは、仮想マシン単位でライセンスが付与される単体製品として提供されます。vSphere は、プロセッサ単位でライセンスが付与される単体製品として提供されます。

Q：プライマリ サイト（vCenter Site Recovery Manager が含まれる）に vCloud Suite Enterprise のライセンスを付与する場合、セカンダリのディザスタ リカバリ サイトにはどのようにライセンスを付与すればよいですか

A：ライセンス要件は、お客様のサイトでディザスタ リカバリがどのように設定されているかによって異なります。次の表を参照してください。

ディザスタ リカバリの設定	サイト A でのライセンス要件	サイト B でのライセンス要件
一方方向：Site Recovery Manager (SRM) が、仮想マシンをプライマリ サイトからセカンダリ サイトにのみフェイルオーバーするように構成されている	<ul style="list-style-type: none"> Site Recovery Manager で保護され、サイト B にフェイルオーバーするように設定されている仮想マシンが動作するすべての CPU に vCloud Suite Enterprise が必要 vCenter Server 	<ul style="list-style-type: none"> フェイルオーバー環境または本番環境で使用されるすべての CPU に vSphere が必要 (SRM のライセンスは不要) vCenter Server
双方方向：SRM が、仮想マシンをサイト A からサイト B に、また、別の仮想マシンをサイト B からサイト A にフェイルオーバーするように構成されている	<ul style="list-style-type: none"> Site Recovery Manager で保護され、サイト B にフェイルオーバーするように設定されている仮想マシンが動作するすべての CPU に vCloud Suite Enterprise が必要 vCenter Server 	<ul style="list-style-type: none"> Site Recovery Manager で保護され、サイト A にフェイルオーバーするように設定されている仮想マシンが動作するすべての CPU に vCloud Suite Enterprise が必要 vCenter Server

購入方法

VMware vCloud Suite を購入するには、次の認定リセラーにお問い合わせください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vcloud-suite/pricing>

http://www.vmware.com/go/jp_partner

詳細情報

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

仕様およびシステム要件の詳細については、VMware vCloud Suite のドキュメントを参照してください。

本資料は原題「VMware vCloud Suite 6.0 Licensing, Pricing and Packaging」の翻訳版です。



ヴァイエムウェア株式会社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア 13F www.vmware.com/jp

Copyright © 2015 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<http://www.vmware.com/go/patents> のリストに表示されている1件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
アイテム No. : VMW6220-WP-vCLD-STE-A4-103

2015/02